

地球環境高等学校 通信教育実施計画

| | | | | | | |
|---------------|---|----------------------------------|---------|-------|-------|------|
| 科目名 (単位数) | 科学と人間生活 (2単位) | | 担当者名 | 遠山 博芳 | | |
| 対象年次 | 期別 | 必要面接時数 | レポート数 | | | |
| 1 学年 | 通年 | 8 - 24 | 6 | | | |
| 科目の概要 | 自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め、目標意識をもって観察・実験などを行い、科学的に探求する能力と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な自然観を育成する。 | | | | | |
| 科目の目標 | 【知識・技能】 自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事物・現象に関する観察、実験などを通して理解する。 | | | | | |
| | 【思考・判断・表現】 科学的な見方や考え方を養う。 | | | | | |
| | 【主体的に学習に取り組む態度】 科学に対する興味・関心を高めること。 | | | | | |
| 年間学習計画・学習のねらい | 学習内容 | 到達目標 | スクーリング回 | | レポート回 | 試験範囲 |
| | | | 通常型 | 週3日型 | | |
| | 第1章 第2章 1節 | 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な自然観を育成する。 | 1 | 4 | 1 | 前期 |
| | 第2章 2節 | 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な自然観を育成する。 | 2 | 4 | 1 | |
| | 第3章 1節 2節 | 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な自然観を育成する。 | 1 | 4 | 1 | |
| | 第4章 1節 2節 | 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な自然観を育成する。 | 2 | 4 | 1 | 後期 |
| | 第5章 1節 | 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な自然観を育成する。 | 1 | 4 | 1 | |
| 第5章 2節 第6章 | 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な自然観を育成する。 | 1 | 4 | 1 | | |
| 評価方法 | 成績評価は、レポート・スクーリング・試験によって決定する。 ○レポート：全6回。教科書や学習書を活用し、取り組むこと。 ○スクーリング：年間計画に従い、スクーリング・実技を実施する。 ○試験の得点：レポート7割、スクーリング3割で出題をする。20点未満は追試。 | | | | | |
| 単位の取得 | ① レポート：締め切りまでに所定のレポートを提出し、合格すること。 ② スクーリング：年間8時間出席すること。 ③ 試験：前期試験、後期試験を受け、合格をすること。 | | | | | |
| 使用教科書等 | 教科書：科学と人間生活 学習書： | | | | | |
| 学習上の留意点 | スクーリングの進行に合わせ復習をし、レポートに取り組みましょう。 | | | | | |